

令和4年度 高齢者実態調査地区別分析結果 緑陽

1 調査の目的

団塊の世代が高齢期を迎え、高齢化率が年々上昇しています。高齢者を取り巻く社会環境が大きく変化し、多様化する課題やニーズに対応するためには、行政とサービス事業所、そして地域組織が協働し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができるようにするための「地域包括ケアシステム」の構築が必要不可欠です。

東海市では、各地域の高齢者を取り巻く課題を明らかにし、「地域包括ケアシステム」を構築するための基礎的資料及び第4次東海市総合福祉計画への反映を目的とし、「高齢者実態調査」を実施しました。

また、分析結果について関係機関等に周知し、地域課題の認識及び解決に向けた取り組みの推進を図ります。

地区別分析では、市の平均との比較から、地区の特徴を見る形で報告しています。

2 調査の内容

対象：令和4年12月末現在で75歳以上となる市内在住の高齢者

時期：令和4年（2022年）5月10日～令和4年（2022年）9月30日

方法：民生委員による個別面接調査（実態調査票）

対象者数：14,624人

有効回答数（回収率）：13,095人（89.5%）

○当該地区データ

対象者数：827人

有効回答数（回収率）：753人（91.1%）（平成29年度調査の回収数：701件）

○ 調査結果の表示方法

- ・回答数は該当者のみが回答するなど、分析方法によって違いがあります。

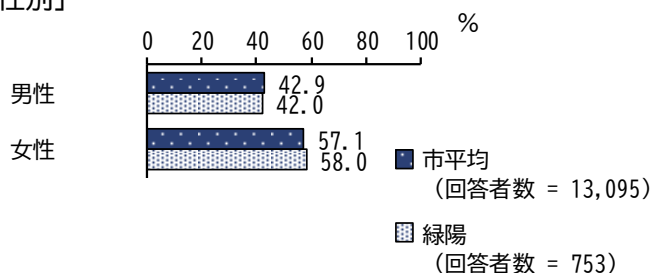
3 地区の高齢者の実態（高齢者実態調査から）

F1 性別／F2 年齢 ※住民基本台帳の情報を参考

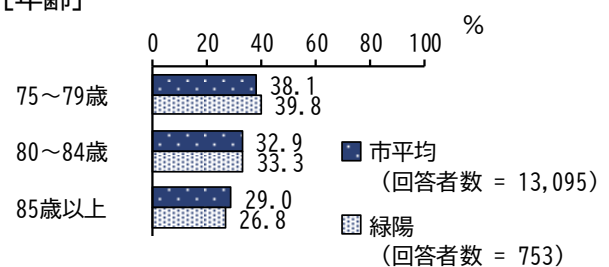
「男性」の割合が42.0%、「女性」の割合が58.0%となっています。

「75～79歳」の割合が39.8%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が33.3%、「85歳以上」の割合が26.8%となっています。

[性別]



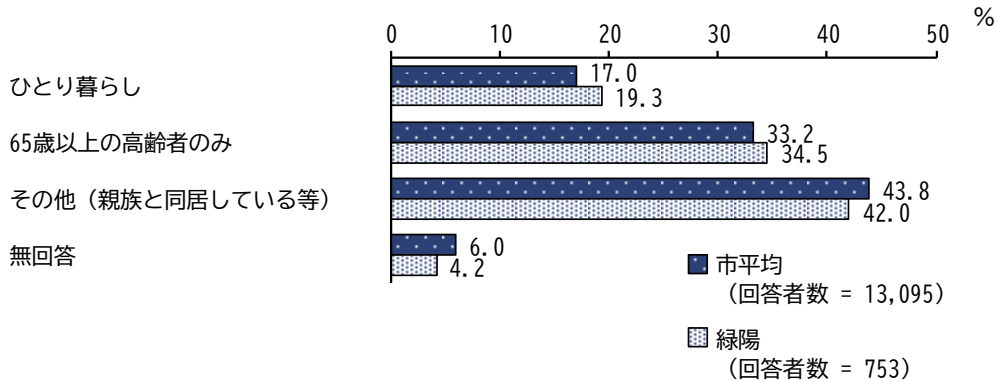
[年齢]



問1 世帯状況

「その他（親族と同居している等）」の割合が42.0%と最も高く、次いで「65歳以上の高齢者のみ」の割合が34.5%、「ひとり暮らし」の割合が19.3%となっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「ひとり暮らし」の割合が高くなっています。



【性別（問1×F1）、年齢別（問1×F2）】

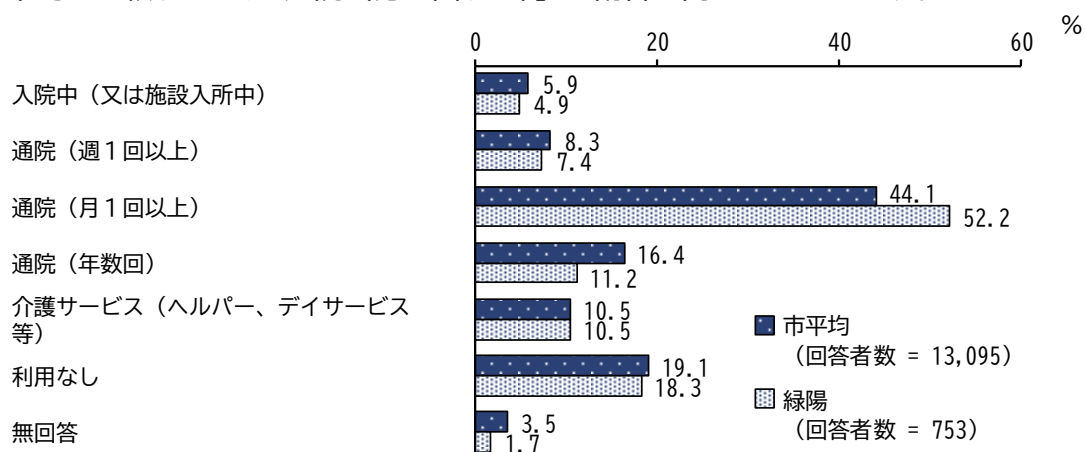
単位：%

区分		回答者数 (件)	ひとり暮らし	65歳以上の高齢者のみ	その他（親族と同居している等）	無回答
全体		753	19.3	34.5	42.0	4.2
性別	男性	316	13.0	45.9	38.3	2.8
	女性	437	23.8	26.3	44.6	5.3
年齢別	75～79歳	300	15.3	44.7	37.7	2.3
	80～84歳	251	19.1	35.1	43.4	2.4
	85歳以上	202	25.2	18.8	46.5	9.4

問2 現在病院や介護保険サービスの利用の有無（複数回答可）

「通院（月1回以上）」の割合が52.2%と最も高く、次いで「利用なし」の割合が18.3%、「通院（年数回）」の割合が11.2%となっています。

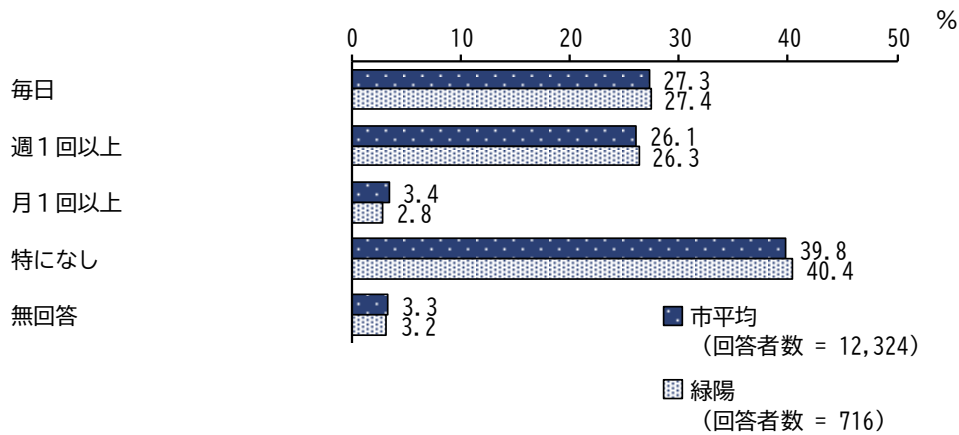
市平均と比較すると、「通院（月1回以上）」の割合が高くなっています。



問3 体操やウォーキング等、健康づくりによる取り組み状況

「特になし」の割合が40.4%と最も高く、次いで「毎日」の割合が27.4%、「週1回以上」の割合が26.3%と5割以上が週1回以上の健康づくりによる取り組みを行っています。

世帯状況別でみると、65歳以上の高齢者のみで「毎日」の割合が高くなっています。



【年齢別（問3×F2）、世帯状況別（問3×問1）、家族外交流別（問3×問4）】

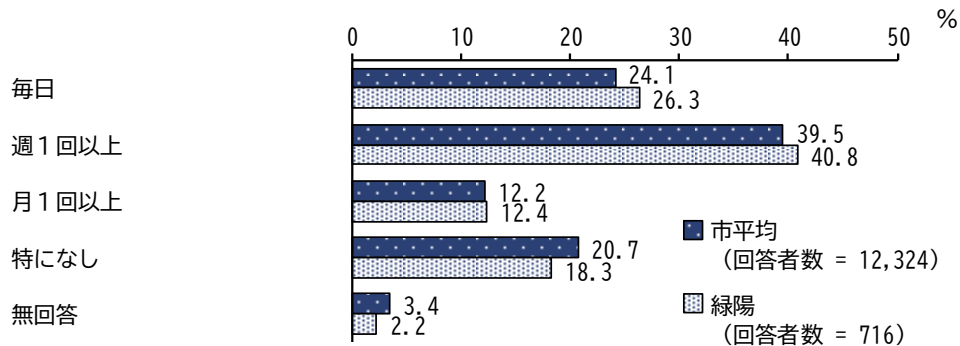
単位：%

区分		回答者数(件)	毎日	週1回以上	月1回以上	特になし	無回答
全体		716	27.4	26.3	2.8	40.4	3.2
年齢別	75～79歳	295	27.5	29.2	3.1	38.0	2.4
	80～84歳	245	31.4	24.5	3.7	37.1	3.3
	85歳以上	176	21.6	23.9	1.1	48.9	4.5
世帯状況別	ひとり暮らし	139	28.1	30.2	3.6	37.4	0.7
	65歳以上の高齢者のみ	256	32.8	25.8	1.2	37.1	3.1
	その他（親族と同居している等）	306	22.9	24.2	3.9	45.1	3.9
家族外交流別	毎日	188	49.5	19.7	2.1	26.1	2.7
	週1回以上	292	21.9	39.7	2.7	33.6	2.1
	月1回以上	89	18.0	15.7	9.0	56.2	1.1
	特になし	131	16.0	15.3	—	67.2	1.5

問4 家族以外の人との交流頻度

「週1回以上」の割合が40.8%と最も高く、次いで「毎日」の割合が26.3%、「特になし」の割合が18.3%となっています。

世帯状況別でみると、ひとり暮らしで「毎日」の割合が高くなっています。



【年齢別 (問4×F2)、世帯状況別 (問4×問1)】

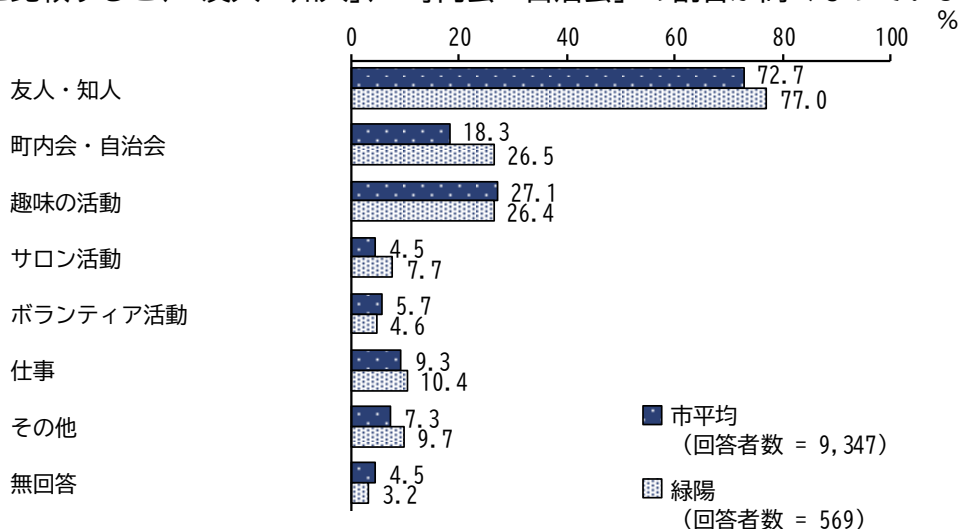
単位：%

区分		(件) 回答者数	毎日	週1回以上	月1回以上	特になし	無回答
全体		716	26.3	40.8	12.4	18.3	2.2
年齢別	75～79歳	295	30.5	40.7	13.6	13.6	1.7
	80～84歳	245	22.0	42.9	15.9	17.6	1.6
	85歳以上	176	25.0	38.1	5.7	27.3	4.0
世帯状況別	ひとり暮らし	139	30.2	43.9	7.9	17.3	0.7
	65歳以上の高齢者のみ	256	26.6	44.9	11.7	14.5	2.3
	その他(親族と同居している等)	306	24.5	35.6	15.4	22.5	2.0

問5 家族以外の交流関係

「友人・知人」の割合が77.0%と最も高く、次いで「町内会・自治会」の割合が26.5%、「趣味の活動」の割合が26.4%となっています。

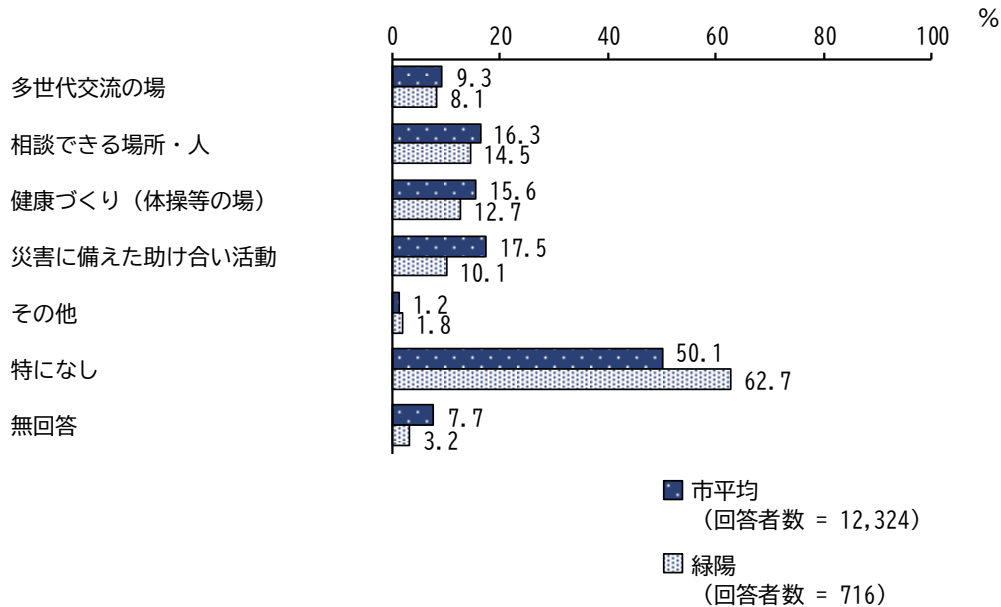
市平均と比較すると、「友人・知人」、「町内会・自治会」の割合が高くなっています。



問6 安心して生活するために、今後身近な地域に必要なと感じるものは何ですか
(複数回答可)

「特になし」の割合が62.7%と最も高く、次いで「相談できる場所・人」の割合が14.5%、「健康づくり(体操等の場)」の割合が12.7%となっています。

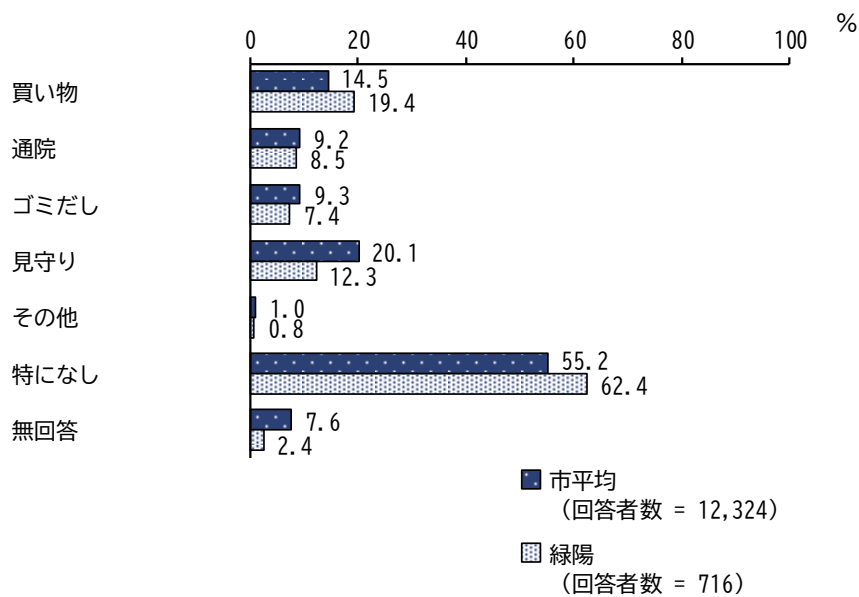
市平均と比較すると、「災害に備えた助け合い活動」の割合が低くなっています。



問7 今後、地域で助け合えると良いと思うことは何ですか(複数回答可)

「特になし」の割合が62.4%と最も高く、次いで「買い物」の割合が19.4%、「見守り」の割合が12.3%となっています。

市平均と比較すると、「見守り」の割合が低くなっています。

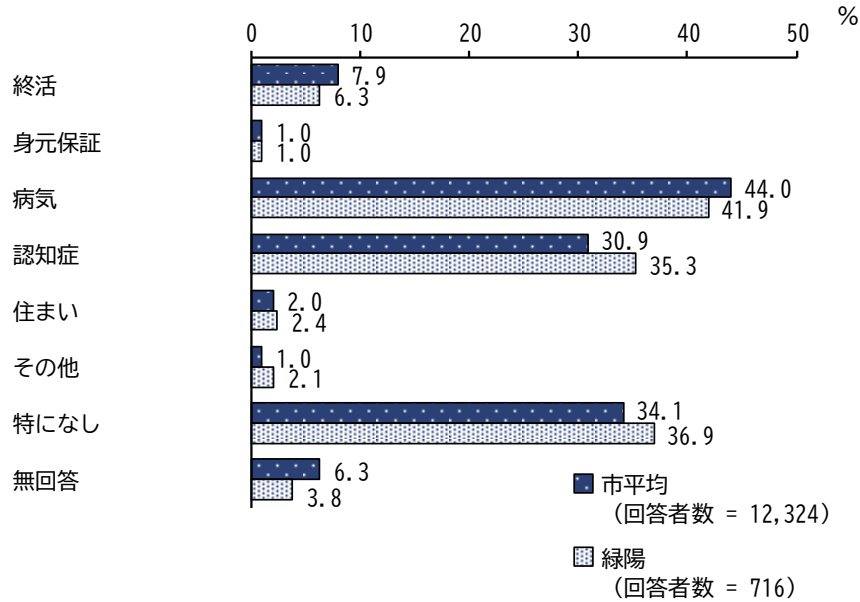


問8 将来への不安に思うことは何ですか（複数回答可）

「病気」の割合が41.9%と最も高く、次いで「特になし」の割合が36.9%、「認知症」の割合が35.3%となっています。

市平均との比較にみると、認知症の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「病気」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「特になし」の割合が高くなっています。



【年齢別（問8×F2）、世帯状況別（問8×問1）、健康活動別（問8×問3）、家族外交流別（問8×問4）】

単位：%

区分		回答者数 (件)	終活	身元保証	病気	認知症	住まい	その他	特になし	無回答
全体		716	6.3	1.0	41.9	35.3	2.4	2.1	36.9	3.8
年齢別	75～79歳	295	7.5	0.3	46.4	35.3	3.1	2.0	33.9	3.4
	80～84歳	245	5.7	1.6	42.4	36.3	2.9	2.0	34.7	4.5
	85歳以上	176	5.1	1.1	33.5	34.1	0.6	2.3	44.9	3.4
世帯状況別	ひとり暮らし	139	5.8	2.2	35.3	31.7	3.6	1.4	41.7	4.3
	65歳以上の高齢者のみ	256	9.8	1.2	46.5	40.6	2.3	2.7	33.2	2.0
	その他（親族と同居している等）	306	3.9	0.3	41.8	33.0	2.0	2.0	37.3	4.2
健康活動別	毎日	196	6.6	0.5	40.8	32.1	1.0	2.6	40.8	4.1
	週1回以上	188	6.9	0.5	48.9	37.2	1.6	1.1	34.6	0.5
	月1回以上	20	10.0	5.0	60.0	45.0	15.0	—	25.0	—
	特になし	289	5.9	1.4	39.1	37.7	3.1	2.8	36.0	2.8
家族外交流別	毎日	188	8.0	1.1	45.2	33.5	2.7	—	37.8	4.3
	週1回以上	292	5.8	1.0	40.8	40.1	1.7	4.1	36.6	1.7
	月1回以上	89	5.6	1.1	47.2	38.2	3.4	2.2	36.0	—
	特になし	131	6.1	0.8	39.7	28.2	3.1	0.8	39.7	3.1

4 地区の高齢者の詳細ニーズ分析（世帯状況×地域交流）

高齢者のニーズについて、世帯状況と家族以外の人との交流状況（週一回以上を“交流あり”と設定）に着眼し、2つの組み合わせで6つのタイプに分類してニーズを分析しました。

『安心して生活するために、今後身近な地域に必要と感じるもの』については、地域の環境整備として公的に必要なニーズを分析することができます。

一方で、『今後、地域で助け合えると良いと思うこと』については、自らができると思うことや人と人との助け合いにより実現できる可能性があるニーズを分析することができます。

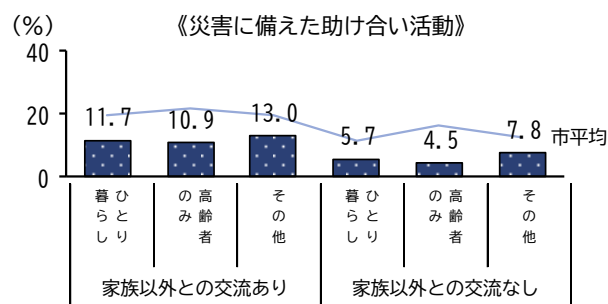
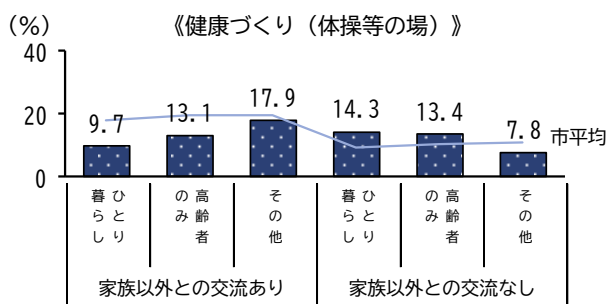
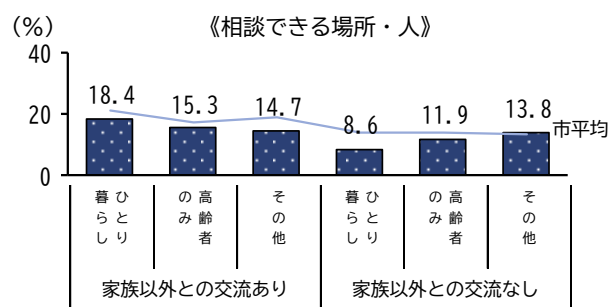
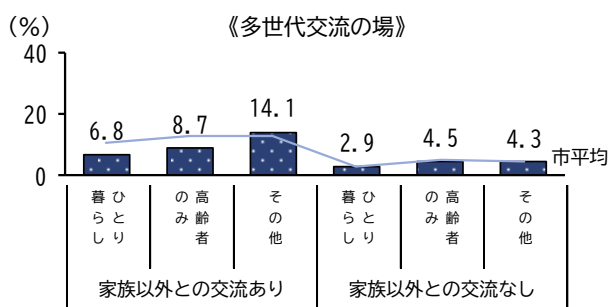
特に、市平均と比較して、高い値を示した項目は、当該地区の特徴的なニーズと言えます。

【6タイプ】

- ①家族以外との交流がある「ひとり暮らし」世帯
- ②家族以外との交流がある「65歳以上の高齢者のみ」世帯 ※“高齢者のみ”と表記
- ③家族以外との交流がある「その他（親族と同居している等）」世帯 ※“その他”と表記
- ④家族以外との交流がない「ひとり暮らし」世帯
- ⑤家族以外との交流がない「65歳以上の高齢者のみ」世帯 ※“高齢者のみ”と表記
- ⑥家族以外との交流がない「その他（親族と同居している等）」世帯 ※“その他”と表記

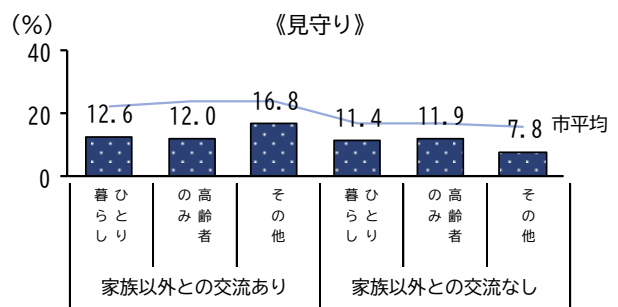
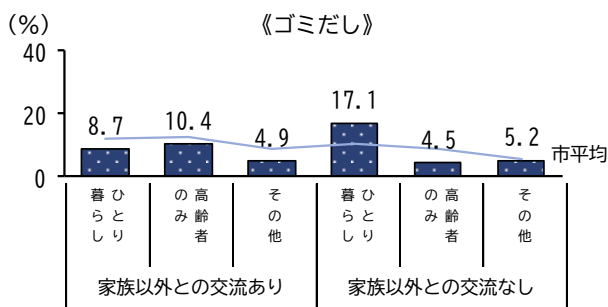
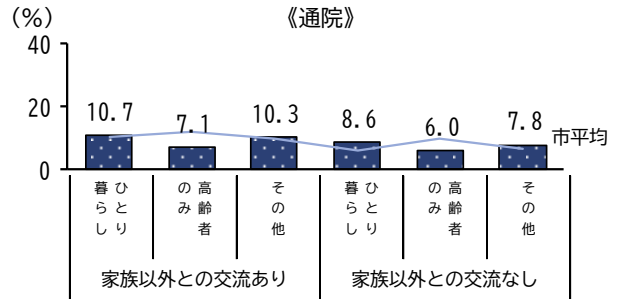
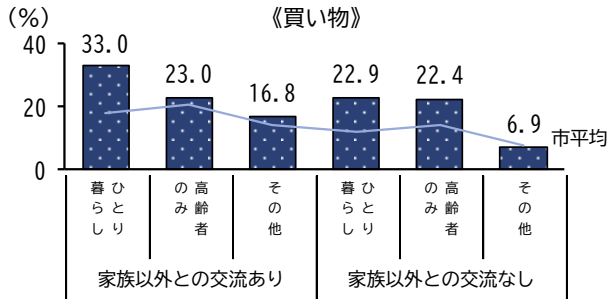
安心して生活するために、今後身近な地域に必要と感じるもの

緑陽地区では、『健康づくり（体操等の場）』の割合が、家族以外との交流がない「ひとり暮らし」世帯で市平均より高くなっています。



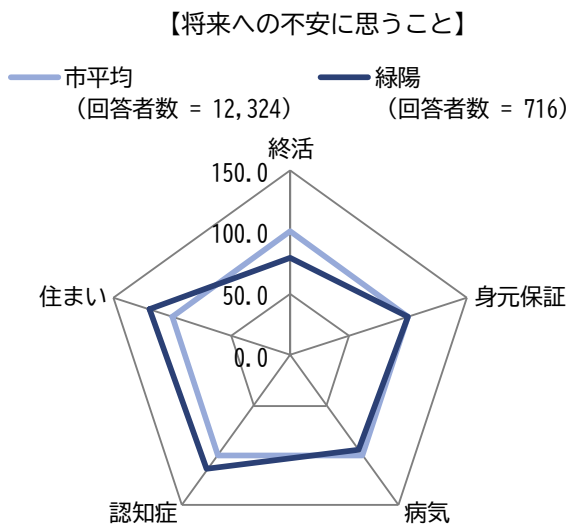
今後、地域で助け合えると良いと思うこと

緑陽地区では、『買い物』の割合が、家族以外との交流がある「ひとり暮らし」世帯、家族以外との交流がない「ひとり暮らし」「高齢者のみ」世帯で、『ゴミだし』の割合が、家族以外との交流がない「ひとり暮らし」世帯で市平均より高くなっています。



将来へ不安に思うこと

※将来へ不安に思うことについて、市平均を100.0とした時の当該地区の特徴を示しました。



総 括

緑陽地区は、市平均と比較すると、「ひとり暮らし」の割合が若干高くなっており、家族以外の人との交流頻度においては、「毎日」と「週1回以上」の割合が若干高くなっています。その背景として、「友人・知人」、「町内会・自治会」との交流が高いことが影響していることがうかがわれます。

地区の詳細分析では、「家族以外と交流がないひとり暮らし」で、身近な地域に必要なものとして、「健康づくり（体操等の場）」を求めています。また、今後地域で助け合えると良いこととして、6タイプ問わず「買い物」ができる環境や取り組みを求めています。

緑陽地区は、地域特性として、市平均と比べ地域とのつながりが高いことから、買い物支援などインフォーマルサービスを創出するきっかけがあれば、高齢者のニーズに対応でき、地域で安心して生活できる環境づくりが期待できます。